日本家庭科教育学会
第 60 回大会プログラム

期日:2017 年 6 月 24 日(土)～6 月 25 日(日)

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3−1

実行委員長 伊藤葉子(千葉大学)

大会事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚 4-39-11 仲町 YT ビル 3 階

日本家庭科教育学会事務局

TEL & FAX:03-3942-7885

E-mail:kateika@amethyst.broba.cc

日程

6 月 24 日(土)					6 月 25 日(日)				
9:00	受　付(417 前)				9:00	受　付(417 前)			
9:30 ～ 11:50	口頭研究発表				9:30 ～ 11:30	口頭研究発表			
	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場		第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
	405	403	402	401		405	403	402	401
	A1-1 ～A1-7	A2-1 ～A2-7	A3-1 ～A3-6	A4-1 ～A4-7		B1-1 ～B1-6	B2-1 ～B2-6	B3-1 ～B3-6	B4-1 ～B4-6
11:50 ～ 12:30	昼食休憩				11:30 ～ 12:30	昼食休憩 新旧理事会(11:35～12:25 D棟9階レストランさくら)			
12:30 ～ 13:00	ポスタープレゼンテーション(奇数)(416)				12:30 ～ 13:00	ポスタープレゼンテーション(偶数)(416)			
13:10 ～ 14:00	総　会(417)				13:10 ～ 15:20	シンポジウム(417) テーマ「家庭科のこれまでとこれから」 基調講演:「これからの家庭科に期待すること ー子どもの自立に焦点化してー」 講師:安彦　忠彦　氏(神奈川大学) シンポジスト: 香西　みどり氏(お茶の水女子大学) 伊藤　葉子　氏(千葉大学) コーディネーター: 中西　雪夫　氏(佐賀大学)			
14:00 ～ 14:40	60 周年記念式典(417)								
15:00 ～ 16:30	記念講演(417) 「家庭科教育が人生を豊かにする」 講師:勝間　和代　氏(経済評論家)								
18:00 ～	懇親会 ハイアットリージェンシー東京				※6 月 23 日(金)13:00～15:00　理事会(402) 15:30～17:00　地区代表者会議(402)				

目　次

研究発表
　口頭発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
　ポスター発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
　家庭科未来プロジェクト・・・・・・・・・　15

記念講演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

記念パーティーのご案内・・・・・・・・・・　18

お知らせ
　大会参加費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
　昼食について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
　保育室について・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
　宿泊等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19

研究発表をされる方への連絡事項
　口頭研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
　ポスター研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・　21

会場までのアクセス・・・・・・・・・　22

センター内マップ・・・・・・・・・・・・・・・・　23

会場配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24

研究発表　口頭発表

（発表番号の A は第 1 日目, B は第 2 日目）

【6 月 24 日】第 1 会場（405）

【午前 9:30～10:30】座長：小野寺泰子（宮城教育大学）

A1-1	家族に関する授業の取り組みと困難意識について －高等学校家庭科教員への調査より－	大阪教育大学教育学部教員養成課程家政教育講座	○小崎恭弘
A1-2	「初任者」が行う「幼児ふれあい体験」における「絵本の読み聞かせ」の効果」	さいたま市立春里中学校 東京学芸大学教育学部 東京学芸大学附属高等学校 東京学芸大学附属小金井小学校 香川大学教育学部 日本女子大学	○金子京子 倉持清美 阿部睦子 西岡里奈 妹尾理子 望月一枝
A1-3	中学校家庭科「幼児と触れ合うなどの活動」実施における行政支援の在り方	東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程） 東京学芸大学教育学部	○松岡晃代 倉持清美

【午前 10:30～11:50】座長：吉川はる奈（埼玉大学）

A1-4	家庭科教員養成における「家庭看護」授業の開発	東京学芸大学教育学部 千葉大学教育学部 埼玉大学教育学部 島根大学教育学部	○倉持清美 伊藤葉子 吉川はる奈 鎌野育代
A1-5	高等学校男女必履修家庭科教育の現状と課題	東京成徳大学子ども学部	○三枝惠子
A1-6	男女共同参画社会に向けた男性の教育と家庭科	高知大学	○森田美佐
A1-7	高校家庭科におけるさをり織を用いた障がい者理解に向けた試み －外部連携・IT を活用したダイバーシティ教育－	お茶の水女子大学附属高等学校	○葭内ありさ

【6 月 24 日】第 2 会場（403）

【午前 9:30～10:30】座長：飯野由香利（新潟大学）

A2-1	小学生から見た家庭科教員と栄養教諭の連携	東京学芸大学大学院教育学研究科(院生) 東京学芸大学教育学部	○明神遼子 倉持清美
A2-2	調理実習のふりかえり記述からみる「応用可能力」の醸成プロセス	埼玉県伊奈町立小針北小学校 埼玉大学教育学部	○石川万記子 河村美穂
A2-3	中学校の調理実習における科学的リテラシー －社会科学的内容の学びを中心に－	静岡県富士市立富士中学校 埼玉大学	○望月朋子 河村美穂

【午前 10:30～11:50】座長：鈴木洋子（奈良教育大学）

A2-4	観察するプロセスを重視した調理実習教材の検討	東京都北区立十条富士見中学校(非常勤) 埼玉大学　教育学部	○山地瑞紀 河村美穂
A2-5	「継続的な食生活の改善に繋がるお弁当つくり」を目指す授業実践	神奈川県大和市立鶴間中学校	○安部明美
A2-6	朝食の定着を目的とした授業手法一朝食の大切さを伝える	池坊短期大学幼児保育学科	○北出かおる
A2-7	家庭科における食生活の実践力を高める教育推進に関する研究	東京学芸大学附属世田谷中学校 東京学芸大学教育学部 東京学芸大学教育学部 東京学芸大学附属高等学校 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（院生）	○桑原智美 藤田智子 倉持清美 阿部睦子 菊地英明

【6 月 24 日】第 3 会場(402)

【午前 9:30～10:30】座長:福田典子(信州大学)

A3-1	小中学校家庭科「アイロンがけ」に関する調査	東京家政大学家政学部 上越教育大学大学院学校教育研究科（院生） 和歌山大学教育学部（元） 和歌山大学教育学部 滋賀大学教育学部	○潮田ひとみ 新國雅子 赤松純子 今村律子 與倉弘子
A3-2	中学生における家庭科の学習レリバンスと生活実践行動 －洗剤に関する授業を中心に－	東京学芸大学大学院教育学研究科（院生） 東京学芸大学教育学部 実践女子大学（非） 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（院生）	○杉浦なぎさ 藤田智子 大竹美登利 菊地英明
A3-3	「布を用いた物の製作」における評価の在り方 －生徒と教員の評価の相違から－	北海道釧路湖陵高等学校 北海道教育大学	○西海志織 佐々木貴子

【午前 10:30～11:30】座長:福井典代(鳴門教育大学)

A3-4	小学校から高等学校までの被服製作学習の実態と基礎的知識の定着の現状	東京学芸大学大学院教育学研究科（院生） 東京学芸大学教育学部 東京学芸大学教育学部	○大塚吏恵 池﨑喜美恵 鳴海多恵子
A3-5	アメリカの服飾のジャポニスムを牽引した明治・大正期の外人向輸出キモノについて	放送大学広島学習センター	○柴静子
A3-6	活動環境や内容に応じた衣服着用力の育成 －小学校家庭科における指導法の開発と検証－	信州大学大学院教育学研究科	○福田典子

【6 月 24 日】第 4 会場（401）

【午前 9:30～10:30】座長：速水多佳子（鳴門教育大学）

A4-1	日本の伝統文化に関する資料作成の授業実践 －小学校教員養成課程の学生を対象とした教材研究として－	茨城キリスト教大学 山梨県立大学 横浜国立大学 共栄大学	○扇澤美千子 斉藤秀子 薩本弥生 伊藤大河
A4-2	学校と家庭・地域を結ぶ「生活の課題と実践」の効果と可能性 －「お雑煮」をテーマとしたアクティブラーニングの試み－	神奈川県横浜市立領家中学校 神奈川県横浜市立六角橋中学校	○葛川幸恵 川本可奈子
A4-3	科学的知識に基づいた中学校家庭科アイロンかけ実習授業の提案 －アクティブ・ラーニングの具現化－	智辯学園和歌山中学校 和歌山大学教育学部 和歌山大学教育学部（元）	○西岡真弓 今村律子 赤松純子

【午前 10:30～11:50】座長：八幡（谷口）彩子（熊本大学）

A4-4	深く考える協働場面における批判的思考を促す授業実践 －「環境に配慮した消費行動」から「よりよい生活」につなぐ学習－	琉球大学教育学部	○土屋善和
A4-5	中学校における家庭科の実践的・体験的学習活動を充実させる要因～東京都中学校家庭科教員への調査から～	東京都小金井市立小金井第一中学校 実践女子大学（非）	○筧敏子 大竹美登利
A4-6	高等学校家庭科の主体的な学びのあり方を求めて	文教大学大学院教育学研究科(院生) 文教大学教育学部	○吉野淳子 石井智恵美
A4-7	家庭科教員養成におけるアクティブラーニング	浦和大学こども学部	○伊深祥子

【6 月 25 日】第 1 会場（405）

【午前 9:30～10:30】座長：川邊淳子（北海道教育大学旭川校）

B1-1	分かる授業で料理の自信をつける調理実習の工夫 －ICT を用いた授業実践を通して－	福岡県立八幡中央高等学校	○加藤敦子
B1-2	教科連携による「家庭基礎」調理実習における「深い学び」の効果	東京都立戸山高等学校	○荒井きよみ
B1-3	魚食文化の継承・創造に向けた授業デザイン －調理師養成施設における授業実践から－	富山県立雄峰高等学校 横浜国立大学教育学部	○中川寛大 堀内かおる

【午前 10:30～11:30】座長：鎌田浩子（北海道教育大学釧路校）

B1-4	高等学校家庭科における教師の社会関係資本が授業にもたらす効果 －プロを招いての味噌作り授業の考察から－	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科(院生) 横浜国立大学教育学部	○遠藤大輝 堀内かおる
B1-5	大学生の食生活実態と家庭科の学び	鳴門教育大学大学院学校教育研究科（院生） 鳴門教育大学大学院学校教育研究科	○石丸千代 速水多佳子
B1-6	大学生の食品表示に関する意識調査 －栄養強調表示を中心に－	東海学院大学健康福祉学部	○高山侑樹

【6 月 25 日】第 2 会場（403）

【午前 9:30～10:30】座長：渡瀬典子（岩手大学）

B2-1	1/10 住宅組立模型を用いた太陽軌道装置の開発と採光実験	長岡造形大学 新潟大学	○広川智子 飯野由香利
B2-2	実空間での照度測定と太陽軌道装置を用いた日射遮蔽実験	新潟大学 長岡造形大学	○飯野由香利 広川智子
B2-3	住環境と省エネルギー行動理解のための教育ゲームの効果	慶應義塾大学 東京ガス株式会社	○杉浦淳吉 三神彩子

【午前 10:30～11:30】座長：藤田智子（東京学芸大学）

B2-4	高校生の地域社会への参加意欲を高めるための授業実践	横浜国立大学大学院教育学研究科（院生） 横浜国立大学教育学部	○城間若奈 佐桑あずさ
B2-5	消費者教育に関する中学校・高等学校教員用支援教材の作成	山梨大学大学院総合研究部	○神山久美
B2-6	生活設計に必要な金銭資源についての授業の試み －高校生の進路選択に焦点をあてて－	千葉県立流山おおたかの森高等学校 千葉大学教育学部 千葉大学教育学部	○仲田郁子 久保桂子 中山節子

【6 月 25 日】第 3 会場（402）

【午前 9:30～10:30】座長：星野洋美（常葉大学）

B3-1	実践的指導力の向上を目指した家庭科教員養成授業プログラムの実践と効果の検討	静岡大学教育学部 静岡大学教育学部	○小清水貴子 小川裕子
B3-2	家庭科における「専門」に関する検討	愛知教育大学教育学部 山梨大学大学院総合研究部教育人間科学域 弘前大学教育学部	○青木香保里 志村結美 日景弥生
B3-3	教職課程の調理実習における切り方演習導入の効果 －技能向上の観点から－	東洋大学食環境科学部 お茶の水女子大学基幹研究院研究員 文化学園大学服装学部	○露久保美夏 福留奈美 五十嵐清子

【午前 10:30～11:30】座長：吉本敏子（三重大学）

B3-4	フィンランドにおける教育改革と家庭科 －コンピテンス，学習目標，評価に焦点を当てて－	大阪体育大学教育学部 大阪教育大学教育学部 金沢大学学校教育系	○荒井紀子 鈴木真由子 綿引伴子
B3-5	フィンランドにおける家庭科教育の近年の動向	京都女子大学発達教育学部	○表真美
B3-6	学校菜園を活用した総合的食教育の実際と課題 －日米における実践例からの考察－	山形大学地域教育文化学部	○大森桂

【6 月 25 日】第 4 会場（401）

【午前 9:30～10:30】座長：西敦子（山口大学）

B4-1	中学校家庭科教員の ICT 活用指導力の実態と課題 －アンケート調査から－	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（院生） 横浜国立大学教育学部	○中西佐知子 堀内かおる
B4-2	家庭科研究グループによる授業研究と教師の変容	安田女子大学家政学部 東京都私立麹町学園女子中・高等学校 大阪体育大学教育学部 福岡教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部 女子栄養大学栄養学部 愛国学園短期大学家政専攻 名古屋文化短期大学専攻科	○一色玲子 神澤志乃 荒井紀子 貴志倫子 鈴木真由子 井元りえ 亀井佑子 羽根裕子
B4-3	家庭科教師の意図するカリキュラムと私的生活経験 －「目標」に関する記述の質的内容分析をもとに－	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（院生） 埼玉大学教育学部	○瀬川朗 河村美穂

【午前 10:30～11:30】座長：瀬戸房子（鹿児島大学）

B4-4	グローバルな視点を育むための家庭科教育内容の検討 －学校設定科目「グローバルライフ」１年後振り返り記述の分析から－	埼玉大学大学院教育学研究科 埼玉大学教育学部	○横瀬友紀子 河村美穂
B4-5	昭和 40 年代初頭における小学校家庭科の教育課程の改善 －「鹿内瑞子旧蔵資料」を資料として－	熊本大学教育学部	○八幡(谷口)彩子
B4-6	「ムーミンタウン」をテーマとした家庭科の授業の検討	平安女学院大学 子ども教育学部	○花輪由樹

研究発表　ポスター発表（416）

展示期間　6 月 24 日（土）9:30～6 月 25 日（日）15:00
プレゼンテーション　奇数番号　6 月 24 日（土）12：30～13：00
偶数番号　6 月 25 日（日）12：30～13：00

P01	成人未婚子の結婚観から家庭科教育における家族を考える －岐阜県山県市の調査から－	岐阜女子大学家政学部生活科学科	○三輪聖子
P02	大学生のジェンダー観の実態 －教師を目指す学生を対象としたジェンダー観を育む講義－	福岡教育大学教育学部	○奥谷めぐみ
P03	中学校家庭科における論理的思考を育む調理実習指導に関する基礎的研究 －ハンバーグの調理過程の手順とその理解度に注目して－	北海道教育大学大学院教育学研究科（院生） 北海道教育大学旭川校	○伊藤大貴 川邊淳子
P04	週 1 時間で実施する調理実習を中心とした題材における工夫と課題	横浜国立大学大学院教育学研究科（院生） 横浜国立大学教育学部	○若林咲 杉山久仁子
P05	高校生が和食を学ぶ	東京都立日野高等学校 埼玉大学教育学部 埼玉大学教育学部（学部生）	○鈴木民子 河村美穂 上田奈津子
P06	高等学校家庭科における介護食に関する学習内容の提案	弘前医療福祉大学短期大学部	○早川和江
P07	食生活における「文字かるた」活用による学び	福岡県立稲築志耕館高等学校 福岡県立門司大翔館高等学校	○林田秩子 筒井佐和子
P08	高等学校家庭科における調理実習指導に関する一考察	山形大学地域教育文化学部	○石垣和恵
P09	小学校特別支援学級における食教育プログラム	北海道教育大学旭川校 北海道教育大学旭川校	○大橋裕子 岡田みゆき
P10	大学生の生活時間と食習慣状況の実態と課題	北海道教育大学教育学部札幌校	○根本亜矢子

P11	食事バランスガイドを活用した弁当献立作成の効果 －２回の手作り弁当課題学習後の学生の意識調査から－	県進徳女子高校 広島大学大学院生物圏科学研究科(院生) 安田女子大学教育学部	○福田明子 海切弘子 鳥井葉子
P12	孤食対策事業「ふれあい食堂」の実態調査 －調理ボランティアに参加して－	松山東雲短期大学生活科学科 鳴門教育大学大学院学校教育研究科	○皆川勝子 福井典代
P13	児童の製作技能に対する意識と課題	東京学芸大学教育学部	○池﨑喜美恵
P14	「被服製作」の実践を「布を用いた物の製作」に生かす方法と課題 －雑誌「家庭科教育」に掲載された教材の分析から－	北海道釧路湖陵高等学校 北海道教育大学	西海志織 ○佐々木貴子
P15	家庭科教材としての絵本『ペレのあたらしいふく』の検討	大分大学教育学部	○都甲由紀子
P16	大学生における基礎縫い技能の実態調査	鳴門教育大学大学院学校教育研究科 鳴門教育大学大学院学校教育研究科	○福井典代 速水多佳子
P17	小学校教員を目指す大学生の「清掃」の授業に対する意識	和歌山大学教育学部 和歌山大学教育学部	○山本奈美 村田順子
P18	中学生の災害リスク認知と家庭防災備蓄の実態	東京家政大学	○青木幸子
P19	中学校家庭科住生活領域における授業実践の実態と課題 －静岡県内の中学校教員を対象とした調査結果から－	静岡大学大学院教育学研究科(院生) 静岡大学教育学部	○山下美乃里 小川裕子
P20	高等学校家庭科における住生活領域の教材開発に関する研究 －「自分の将来の住生活を考える」授業－	静岡大学教育学部 静岡大学大学院教育学研究科（大学院生） 浦和大学	○小川裕子 藤原恵里 伊深祥子
P21	家庭科における住まいの管理に関する指導内容の考察	鳴門教育大学大学院学校教育研究科	○速水多佳子

P22	中・高・大における省エネ教育による行動変容効果の違い	常磐大学 東京ガス株式会社 東京家政大学 東京家政大（院）	○飯村裕子 三神彩子 赤石記子 長尾慶子
P23	行動変容を促す省エネ型買い物指導教材の開発と教育効果	東京ガス株式会社 東京家政大学 常磐大学 東京家政大学大学院	○三神彩子 赤石記子 飯村（久松）裕子 長尾慶子
P24	省エネ行動変容ステージモデルに応じた教育支援策による意識・行動変容効果	東京家政大学家政学部 東京ガス株式会社 常磐大学人間科学部 東京家政大学大学院人間生活学総合研究科	○赤石記子 三神彩子 飯村（久松）裕子 長尾慶子
P25	外国につながる児童への教育支援としての外国語家庭科ガイドブックの作成	千葉大学教育学部 埼玉大学教育学部 金城学院大学生活環境学部	○伊藤葉子 河村美穂 上野顕子
P26	ブリティッシュコロンビア州のカリキュラム改革と家庭科教育 －「応用技能」から ADST へ－	岩手大学教育学部	○渡瀬典子
P27	1950-60 年代における家庭科の教科理論 －「労働力再生産」論の出現・展開・衰退の過程を追って－	宮城教育大学(元) 広島大学教育学部（元） 福岡教育大学（元） 宇都宮共和大学 静岡大学教育学部（元）	○中屋紀子 田結庄順子 柳昌子 牧野カツコ 吉原崇恵
P28	高等学校男女共修家庭科自主編成運動と地域 －1960 年代～1970 年代の京都・長野・北海道－	京都教育大学教育学部 京都教育大学教育学部 京都教育大学教育学部 愛知教育大学教育学部	○井上えり子 唐津育子 田中任代 青木香保里
P29	生活場面で実践できる力の実態と課題 －前回調査をふまえた調査設計の経過と構想－	常葉大学大学院初等教育高度実践研究科 三重大学教育学部 静岡大学教育学部 椙山女学園大学教育学部 三重大学教育学部附属中学校 伊賀市立玉滝小学校 元静岡大学教育学部	○星野洋美 吉本敏子 小川裕子 室雅子 吉岡良江 安場規子 吉原崇恵

P30	家庭科教員養成における他教科との連携学習の成果と課題 －家庭科の見方･考え方に基づく「家庭基礎」カリキュラムの提案－	広島大学大学院教育学研究科 広島大学大学院教育学研究科（院生） 広島大学大学院教育学研究科（院生） 広島大学大学院教育学研究科（院生） 広島大学大学院教育学研究科（院生） 広島大学大学院教育学研究科 広島大学大学院教育学研究科 広島大学大学院教育学研究科 広島大学大学院教育学研究科	○鈴木明子 朝原頌子 庄莉莉 末岡奈々 内藤祐輔 今川真治 村上かおり 髙田宏 梶山曜子
P31	教育実習における教師としての資質能力の変容	弘前大学教育学部 愛知教育大学教育学部 山梨大学大学院総合研究部教育人間科学域	○日景弥生 青木香保里 志村結美
P32	教員養成家庭科カリキュラムにおける「教科内容構成力」の育成 －平成 28 年度岡山大学教育学部「中等家庭科内容論」「衣生活論」の実践と検討を通して－	岡山大学大学院教育学研究科 岡山大学大学院教育学研究科	○佐藤園 篠原陽子
P33	小学校家庭科における学校放送番組活用のための手立て －初等教員養成課程大学生による指導案の傾向と課題－	兵庫教育大学大学院学校教育学研究科 兵庫県立有馬高等学校(非) 兵庫教育大学大学院（院生）	○永田智子 山本亜美 村田晋太朗
P34	家庭科教師の成長に関する研究 －教職経験におけるエピファニーに焦点化して－	千葉県私立東葉高等学校 埼玉大学教育学部 静岡大学教育学部 文教大学付属中学校高等学校 青山学院大学教育人間科学部・非 東京都立武蔵台学園 千葉県立流山おおたかの森高等学校 前女子学院中学校高等学校・非 三輪田学園・非 葛飾区立新宿中学校 東京学芸大学大学院(院)	○若月温美 河村美穂 小清水貴子 椎谷千秋 千葉悦子 滝本浩世 仲田郁子 中村恵美子 松井洋子 松岡文子 瀬川朗

【家庭科未来プロジェクト（学会特別研究委員会）　ポスター展示　】

家庭生活に関わる意識や高等学校家庭科に関する全国調査　中間報告

6 月 24 日（土）9：30～6 月 25 日（日）15：00（416）

プレゼンテーション
6 月 24 日（土）12：30～13：00（社会人調査）
6 月 25 日（日）12：30～13：00（高校生調査）

学会 60 周年を控え，2015 年に学会特別研究委員会（家庭科未来プロジェクト）が発足しました。家庭科が育む資質・能力や教科の独自性を明らかにし，それを広く社会に発信することを目指しています。本大会では，高校生と社会人を対象に実施した全国調査について，その結果の一部を報告します。

プロジェクトメンバー

大阪体育大学教育学部	荒井　紀子
静岡大学教育学部	小川　裕子
聖徳大学大学院（非）	河野　公子
大分大学教育学部	財津　庸子
東京都立日野高等学校	鈴木　民子
大阪教育大学教育学部	鈴木真由子
新潟大学大学院教育学研究科	高木　幸子
佐賀大学教育学部	中西　雪夫
茨城大学教育学部	野中美津枝
弘前大学教育学部	日景　弥生
愛媛大学教育学部	藤田　昌子

【記念講演】

6 月 24 日(土)15:00～16:30 （417）

家庭科教育が人生を豊かにする

講師　勝間　和代氏

【講師経歴】

経済評論家，中央大学ビジネススクール客員教授。

早稲田大学ファイナンス MBA，慶応大学商学部卒業。

当時最年少の 19 歳で会計士補の資格を取得，大学在学中から監査法人に勤務。

アーサー・アンダーセン，マッキンゼー，JP モルガンを経て独立。

現在，株式会社監査と分析取締役，内閣府男女共同参画会議議員，国土交通省社会資本整備審議会委員，中央大学ビジネススクール客員教授として活躍中。

ウォール・ストリート・ジャーナル「世界の最も注目すべき女性 50 人」選出

エイボン女性大賞（史上最年少）

第一回ベストマザー賞（経済部門）

世界経済フォーラム(ダボス会議)Young Global Leaders

少子化問題，若者の雇用問題，ワークライフバランス，ITを活用した個人の生産性向上，など，幅広い分野で発言をしており，ネットリテラシーの高い若年層を中心に高い支持を受けている。Twitter のフォロワー61 万人，FB ページ購読者 4 万 6000 人，無料メルマガ 4 万 7000 部，有料メルマガ 4000 部などネット上で多くの支持者を獲得した。5 年後になりたい自分になるための教育プログラムを勝間塾にて展開中。

著作多数，著作累計発行部数は 500 万部を超える。

2015 年 1 月，麻雀のプロ団体，最高位戦日本プロ麻雀協会のプロ試験に合格。春から D1 リーグに所属する。

【基調講演＆シンポジウム】

6月 25 日（日）13:10～15:20 （417）

テーマ 「家庭科のこれまでとこれから」

趣旨

60 周年記念大会の開催にあたり，安彦忠彦氏にこれからの家庭科教育が社会のなかで担うべき役割について，子どもの自立に焦点化しながら基調講演をお願いした。その上で，当学会と関連が深い調理科学は家庭科とどのように関わっていくべきかについて日本調理科学会香西みどり会長から語意見を頂戴する。さらに，当学会伊藤葉子会長が，これまでの家庭科が辿ってきた過程を振り返りながら，展望を展望する。

平成29年3月31日付で，学習指導要領が公示され，これは平成32年から施行される。この岐路に立ち，家庭科教育の未来について活発な議論を展開する場としたい。

基調講演

「これからの家庭科教育に期待すること―子どもの自立に焦点化して―」

安彦忠彦氏 （名古屋大学名誉教授 神奈川大学特別招聘教授）

講師プロフィール：東京都生まれ。博士(教育学 名古屋大学)。大阪大学助手，愛知教育大学助教授，名古屋大学教授，早稲田大学特任教授をへて現職。専門は教育課程（カリキュラム）論を中心に，教育方法，教育評価。名古屋大学教育学部長，同附属中学校・高等学校長，日本カリキュラム学会代表理事，中央教育審議会委員等を歴任。

主な著書『改訂版 教育課程編成論―学校は何を学ぶところか』（放送大学教育振興会，2006）

『「教育の」の常識・非常識―公教育と私教育をめぐって』（学文社，2010）

『子どもの発達と脳科学―カリキュラム開発のために』(編著，勁草書房，2012)

シンポジウム

シンポジスト 香西みどり氏（お茶の水女子大学 教授 日本調理科学会会長）

「調理の視点から家庭科を考える」

伊藤葉子氏 （千葉大学 教授 日本家庭科教育学会会長）

「家庭科の変遷と新学習指導要領－課題と展望」

安彦忠彦氏 （神奈川大学 特別招聘教授）

コーディネータ 中西雪夫氏 （佐賀大学 教授）

記念パーティーのご案内

日時 ： 6 月 24 日(土)　18:00～20:00

会場 ： ハイアットリージェンシー東京　地下2階　桃山

https://tokyo.regency.hyatt.com/ja/hotel/home.html

会費 ： 7,000 円

住所 ： 東京都新宿区西新宿 2-7-2　　電話 ： 03-3348-1234

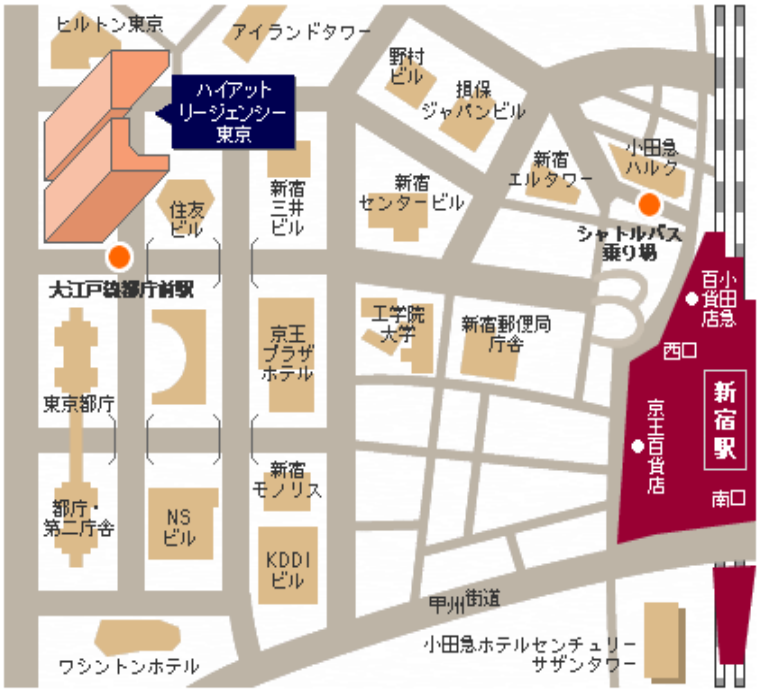
交通 ： ・新宿駅西口より徒歩 9 分

無料送迎シャトルバスあり（所要時間 5 分　座席数 23）

新宿駅西口小田急ハルク前 35 番発　毎時 10,30,50 分発

・地下鉄丸の内線西新宿駅より徒歩 4 分

・地下鉄大江戸線都庁前駅 A7 出口 C4 連絡通路経路で徒歩 1 分



【お知らせ】

●大会参加費　正会員　5,000 円（当日は 6,000 円）
学生会員　3,000 円（当日は 3,500 円）
非会員　6,000 円
学生非会員　3,500 円
非会員の 1 日参加費　2,500 円（要旨集別売り　1,000 円）

参加申込期間は，2017 年大会プログラム到着から 6 月 2 日（金）までです。

●昼食について

建物内は食堂以外は飲食禁止です。施設内で食事ができるのは下記の通りです。

研究発表と同じ建物2階にある「カフェテリアふじ」をご利用の場合は，事前申し込みを受け付けます。

食券代　事前申込み 560 円（当日 610 円）

同封の振込用紙にご記入ください。その他の食堂をご利用の場合は各自で当日ご利用ください。

・カフェテリアふじ（昼食 11：30～13：30）センター棟2階
・レストランとき（昼食 11：30～14：30）カルチャー棟2階
・レストランさくら（7：00～23：00）D棟9階
・カフェフレンズ（喫茶・軽食）（8：00～19：00）センター棟2階
・カフェ＆ベーカリーぴっころ（喫茶・軽食）（8：00～19：00）正門横

●保育室について

準備していません。

●宿泊等について

各自で手配していただきますようお願い致します。

【研究発表をされる方への連絡事項】

【口頭研究発表】

1. 口頭研究発表のための資料は，パワーポイントおよび印刷物とします。

2. パワーポイントをご使用になられる方へ

①各発表会場に用意するパソコンのOSはwindows 7Pro(32bit)（日本語），ソフトは Windows 版 PowerPoint2010 です。

②ファイル名は次のようにして下さい。

半角文字で発表番号， 全角で発表者名の順（例：A1-1 中西）

③ファイルは，ウィルスチェックをすませた USB フラッシュメモリに保存してご持参いただき，以下のように，各自でパソコンにコピーしてください。

1 日目発表：6 月 24 日（土）：9：00～9：20（各会場にて）

2 日目発表：6 月 25 日（日）：9：00～9：20（各会場にて）

④パワーポイントの操作は発表者が行って下さい。

⑤パソコンにコピーしたファイルは，大会終了日に消去します。

3. 配付資料は， 発表番号と氏名を明記し，必ず 100 部用意して，発表直前に会場係りにお渡しください。会場係が参加者に配布いたします。余った資料は会場内の資料置き場に置いておきます。

4. パワーポイントを使用される場合でも，機器に不具合が生じた時のために，印刷物を 100 部ご用意ください。

5. 口頭発表の時間は 15 分，質疑応答の時間は 5 分です。発表時間が厳守されないとスケジュールが乱れますから， 是非ご協力をお願いいたします。

6. 口頭発表開始 13 後に 1 鈴，15 分後に2鈴，20 分後に3鈴をもって終了の合図とします。

7. 発表中止の場合は，できるだけ早めに，大会前の場合は学会事務局へ連絡ください。大会当日は，会場では電話受付できませんので，大会に参加する方に連絡をとるなどして，大会実行委員会事務局にお知らせいただけるようにお願いします。発表中止があった場合でも，その後の口頭発表時間の繰り上げはいたしません。

【ポスター研究発表】

1. ポスターは，パネルボード縦 210cm，横 90cm 以内のサイズでご準備下さい。

2. 指定されたポスター発表番号場所に，発表番号・演題目・所属・氏名・説明文・図・表・写真など，自由にレイアウトしてください。

3. ポスターの掲示は，
6 月 23 日（土）9:00～9:30 までの間に各自で行ってください。
備え付けの画鋲で貼付してください。
掲示したポスターは期間中は途中で撤去しないでください。

4. 発表者は，ポスタープレゼンテーション時間帯には，ポスター傍に待機してください。
奇数番号プレゼンテーション：6 月 24 日（土）12:30～13:00
偶数番号プレゼンテーション：6 月 25 日（日）12:30～13:00

5. ポスターの撤去は，
6 月 24 日（日）15:00～15:30 までの間に各自で行ってください。
所定の時間にポスターを撤去することができない発表者はご自身で大会に参加する方などに依頼し，ポスターを撤去するようにお願いいたします。
撤去時間を過ぎましても残っているポスターにつきましては，事務局にて撤去し，処分いたしますので予めご了承ください。

【会場までのアクセス】

参宮橋からの[歩道橋]を使った経路

○最寄り駅

小田急線　参宮橋駅下車　徒歩 7 分

○京王バス

新宿駅西口(16 番)より　代々木 5 丁目下車

渋谷駅西口(40 番)より　代々木 5 丁目下車

○その他

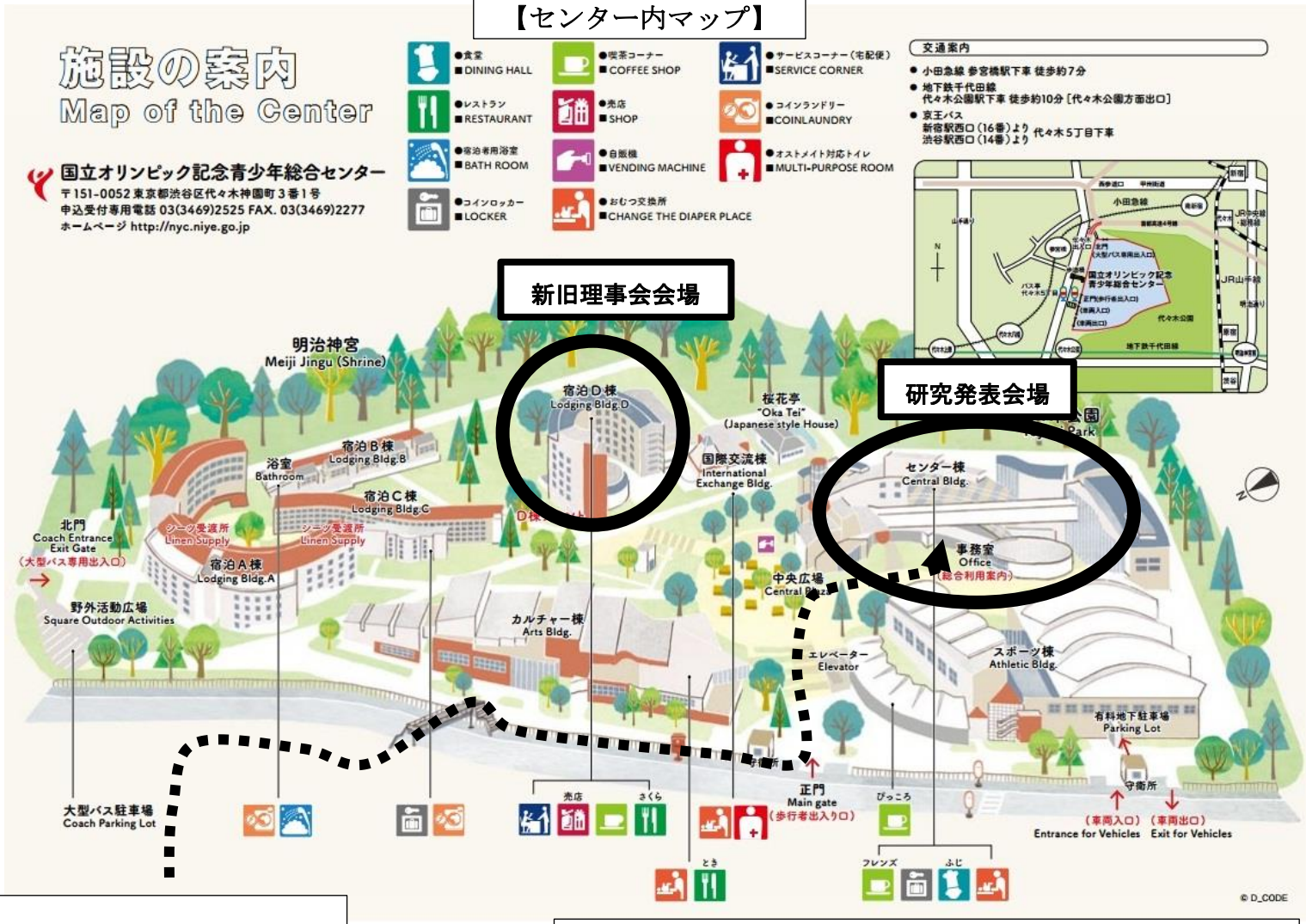
地下鉄千代田線　代々木公園駅下車

(代々木公園方面 4 番出口)　徒歩約 10 分

※カラーのわかりやすい地図は下記をご参照ください。

http://nyc.niye.go.jp/train/

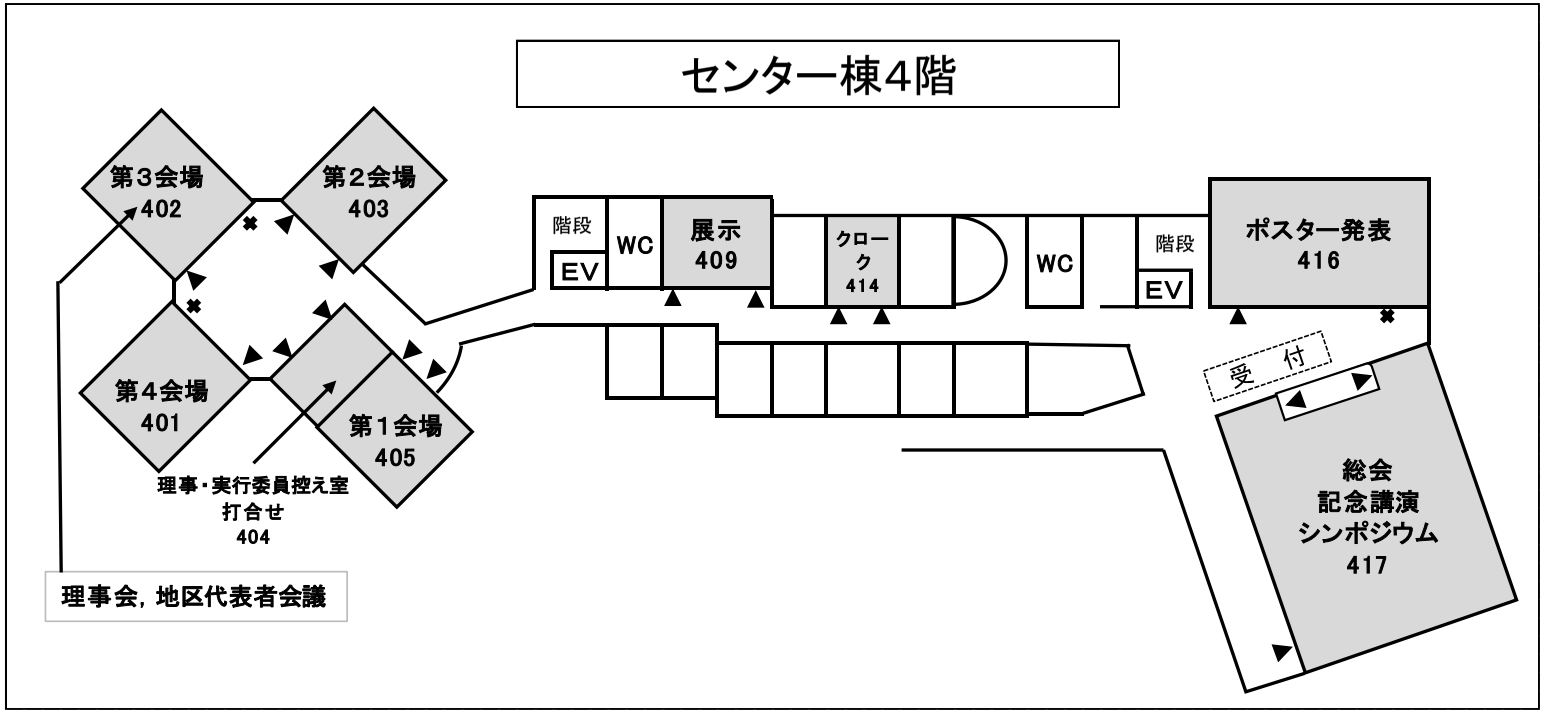
【センター内マップ】



小田急線参宮橋方面

※わかりやすいカラーの地図は下記をご参照ください。
http://nyc.niye.go.jp/wp/wp-content/uploads/2014/10/nyc_map.pdf

【会場配置図】


センター棟4階
第3会場
402
第2会場
403
第4会場
401
第1会場
405
理事・実行委員控え室
打合せ
404
理事会，地区代表者会議
階段
EV
WC
展示
409
クローク
414
WC
階段
EV
ポスター発表
416
受付
総会
記念講演
シンポジウム
417